

TOKAIDENPUN GROUP TRADE SHOW 2024

食をつなぐ 世界をつなぐ 自然の恵みを未来へと

日時

2024 5/23 土 13:00 - 17:00

5/24 金 10:00 - 17:00

会場

東京国際フォーラム

hall E

社長のご挨拶

平素は格別のご高配を賜り、ありがとうございます。あらためまして、厚く御礼申し上げます。今般4年振りにTDCグループトレードショーを東京国際フォーラムで開催する運びとなりました。食品業界では、コロナ禍により「新たな食のあり方」「食の多様性」が生み出されましたが、時代はコロナからネクストフェーズに移行し、変化の速さは一段と加速しつつあります。私たちはそのような環境のなかで、メインテーマを「食をつなぐ 世界をつなぐ 自然の恵みを未来へと」とし、各ブースのテーマを「人手不足・サステナブル・安定供給・共同開発・健康」の5つに大別し、お客様と共に課題解決をさせていただく商談会をご提案いたします。皆さまに是非ご来場いただき、ご商談と交流の機会を頂戴できれば幸甚でございます。どうぞよろしく申し上げます。



東海澱粉株式会社
代表取締役社長 葉山 裕

ご来場のお知らせ



ご来場にはご招待状に記載された**二次元コードが必要**になります。参加をご希望の方は、貴社担当の弊社グループ社員にお申し込み下さいますようお願いいたします。二次元コード付きの招待状を、開催10日前頃にメールにて送信いたします。**会場にてスマホ等で二次元コードをご提示いただくか、招待状を印刷してご持参ください。**

TOKAIDENPUN GROUP TRADE SHOW 2024

食をつなぐ 世界をつなぐ 自然の恵みを未来へと

5つの提案



会場 Map

国内グループ「恵みを活かす」

- ① スターアグリ
- ② さんわ & 共栄製茶
- ③ 串本食品
- ④ 東海シープロ

海外グループ「世界の恵み」

- ① 中国
- ② インドネシア
- ③ 台湾
- ④ アメリカ
- ⑤ ベトナム
- ⑥ インド
- ⑦ タイ
- ⑧ EU

東海澱粉「海の恵み」

- ① すり身
- ② 鮮魚
- ③ 凍魚
- ④ 鯉鮪
- ⑤ 加工鰻

東海澱粉「大地の恵み」

- ① 澱粉
- ② 食品
- ③ 研究開発室
- ④ 畜肉
- ⑤ 米麦
- ⑥ 雑穀
- ⑦ 飼肥料
- ⑧ 包材
- ⑨ 農産



※会場のレイアウトは変更になる可能性があります。

社員プレゼンテーションスケジュール

5/23 木

15:30

コーチTDC

『問いの効果』

15:50

コーチTDCは「問い」によって貴社の課題解決のお手伝いを致します

登壇者 コーチTDC株式会社 平野 剛

16:00

包材グループ

世界の共通言語SDGs

16:20

資材や日常業務の見直しも持続的成長に向けた第一歩。TDCと一緒に考えます！

登壇者 営業一部 包材グループ 課長 篠田 岳志

5/24 金

12:30

ESG委員会

TDCグループのESG活動

12:50

清水エスパルス様との協働による地域貢献活動

登壇者 東海澱粉グループ ESG委員会 藤田 直利

13:00

すり身グループ

健康・サステナブル原料【すり身】の現況

13:20

タイムリーな情報をTDCがお届けします

登壇者 営業二部 すり身グループ 課長 神野 芳治

15:30

品質保証部

新たなコミュニケーション手段の活用

15:50

安全安心な商品の提供を目指して

登壇者 品質保証部 品質保証グループ 推進役 大澤 勝

スケジュール SCHEDULE

講演会スケジュール

5/23 木

14:00

「泳縁(えいえん)」～金メダル獲得後の挫折と学び～

元競泳日本代表 / 「着衣泳を広めるプロジェクト」リーダー 岩崎 恭子 氏

15:00

約30年前のバルセロナオリンピックで金メダル獲得まで、父親の病氣から健康な身体づくりのために始めた水泳。そこから姉妹揃って日本を代表する選手に。金メダル獲得後は多く称えられながらも、中学生では耐えられないプレッシャーなども、そこからどの様にアトランタオリンピックに出場したのか、3つの言葉「泳縁」「素直さ」「しあわせ」についてお話しします。



競技者として常に前に行く姉を追いかけ、競泳を始める。バルセロナ五輪選考会を兼ねた日本選手権残り1枠を姉と争うこととなり、周囲の予想に反して出場権を獲得した。世界ランクは14位、メダル候補にも争えない無名の選手だったが、本番で驚異的な成長をみせ、当時のオリンピック記録を塗り替えるタイムで競泳史上最年少金メダリストに輝く。名言として残るインタビューも相まって、一躍時の人となった。過剰な注目に苦悶し、不調が続いたが、奮起して2度目の五輪出場を果たした。引退後は児童の指導法を学ぶために米国へ留学。現在は水泳レッスンや「着衣泳を広めるプロジェクト」を発足し、講演会・イベント出演などを通して水泳の楽しさや水辺で楽しく安全に遊ぶ方法を伝える活動をしている。

5/24 金

11:00

高齢化社会における食生活のあり方と魚肉タンパク質

関西大学 化学生命工学部 教授
北海道大学大学院水産学研究所博士課程修了博士(水産学) 福永 健治 氏



これまでイコサヘキサン酸、ドコサヘキサン酸など水産物由来n-3系高度不飽和脂肪酸や各種脂溶性成分の健康機能性に関する研究を行ってきました。一方で、水産物の健康機能性発現には、これら脂溶性成分のみならず水産物由来タンパク質の関与があるのではと思いついたのが約四半世紀前。当時、学会発表では、その他のカテゴリーで、最終日最終時間帯、聴衆なし、座長と演者の私だけということもありました。諦めず、研究を重ねているうちに、魚肉タンパク質が持つ健康機能性発現機序が明らかになり、成果を語り合える仲間と出会うことができました。これからも魚肉タンパク質の持つ潜在力、可能性を示し続けていきたいと考えています。

14:00

もう始まっている!!
中小食品・惣菜製造企業のAI・ロボット・量子コンピュータ活用

一般社団法人日本惣菜協会 AI・ロボット推進イノベーション担当フェロー 荻野 武 氏



日立製作所中央研究所での半導体、撮像素子、アナログ・デジタル信号処理の研究から始まり、この研究成果を持って、工場・事業部門で開発、設計、SE、商品企画等を担当。シリコンバレーにおいて日当初のインターネットコマース、クラウドサービス型サーベillance事業、DVDカメラ事業等、各種新規ビジネスを立ち上げ、帰国後、本社にて脳科学を始めとする様々な新規事業立ち上げ、新興国都市開発、各種全社新規事業のインキュベーションの後、「人の幸せは食から」と確信し、2016年4月にキュービーに転職。AI・ロボット等各種次世代技術の現場実装に取り組んだ後、最も人手不足で困っている惣菜業界の発展を促進するため、2021年7月から日本惣菜協会にてAI・ロボット推進イノベーション担当フェローとしてOne for all, All for oneの精神で業界のAI・ロボット化を推進する。MOT/MBA、日本イノベーション融合学会フェロー、ロボット革命イニシアティブ協議会WG2食品TC長、経産省及び農水省の国プロリーダー。

※講演内容は変更になる可能性があります。